

令和元年度 全国学力・学習状況調査結果について

本年度4月に中学3年生を対象に悉皆の「全国学力・学習状況調査」が実施されました。
以下本年度調査教科と目的です。

調査教科： 国語 (50分) 数学 (50分) 英語 (45分) 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」 英語 (45分) 「話すこと」 各教科や生徒の生活習慣、学習習慣の実態調査 (30分)
調査目的： 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。 そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

この調査結果は学力の一部が抽出されたものであり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえた上で、目的に沿って調査によって得られた課題を明らかにし、その改善を図っていくことが調査本来のねらいであると考えております。

学校としましては現在、学力向上に日々取り組んでおります。今回の調査結果を検証し、全国や大阪府の結果と比較検討しながら、さらなる学力向上の取り組みを図ってまいります。保護者の皆様には本校生徒の学力状況についてお知らせするとともに、今後とも学校と家庭で本校教育の推進について共に考えていく一つの資料としてご活用いただければと存じます。個人の結果は既に返却いたしております。

なお、吹田市においても今回実施した調査についての成果及び課題・問題点を市のホームページ上で公表いたしております。

1. 調査結果の概要**国語**

- ① 全体的に全国値の平均値を下回っている。
- ② 話す・聞く能力は、全国値をやや上回っている。
- ③ 無解答率は後半になるにつれて高くなっている。特に2三「話し合い」の無解答率が高かった。

【課題と解決に向けて】

- ・他の生徒の意見をよく聞き、内容を分析し、自分の意見との違いをまとめて発言できるようにする。
- ・漢字、慣用句、ことわざなど言葉の知識や語彙数を増やす。
- ・初見の文章の概要をメモとして残せる練習を行う
- ・古文は口語訳のある問題を使って、わからない部分を探るとともに大きなあらすじを把握する。

数学

- ① 全体的に全国値の平均値を下回っている。
- ② 「数と式」(計算の分野)と、記述式の問題において、全国値の平均値を上回っている。
- ③ 数学的な技能の正答率が全国値の平均値を大きく下回った。

【課題と解決に向けて】

- ・数学的な技能の問題は「連立方程式」「反比例」「確率」の3つであった。「連立方程式」は全国値の平均を上回り、「反比例」「確率」は下回った。スパイラルで繰り返し学習する内容は定着しているが、繰り返し出てこない内容は定着していない。定期的に取り扱うようにする。

英語

- ① 全体的には全国値の平均値を下回っている。
- ② “書くこと”のみ全国値の平均値をやや上回る結果となった。
- ③ “話すこと”が項目の中で点数がとれず、課題が山積みの結果となった。

【課題と解決に向けて】

・それぞれの項目の中で、良い結果が出たものもあったが、やはり“話すこと”の力が全国値と比べ、低い値だったことを受け、レベルの向上のための授業内容の検討が課題となると共に、生徒達の“Speaking”に対する積極的な姿勢と取り組みをする姿勢を育む必要がある。

生徒質問紙

この生徒質問は、日頃の子どもの生活習慣や学習習慣について、さまざまな質問からその実態を探るとともに、課題を見つけ、今後の指導に活かしていこうとするものです。本校生徒の特徴的なものをいくつか紹介します。

【学校に対して】

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」は全国値を上回っている。
- 「1, 2年生のときに受けた授業で、コンピューターなどのICTをどの程度使用しましたか」は月1回未満の項目が全国値を大きく上回った。
- 「授業でもっとコンピューターなどのICTを活用したいと思いますか」は全国値を下回っている。

【自分自身に関すること】

- 「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」「人が困っているときは、進んでたすけていますか」「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか」は全国値を上回っている。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」は全国値を下回っている。

【家庭での過ごし方】

- 「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」は全国値を下回っている。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わってる時間も含む）」は、「3時間以上行う」が全国値を上回っているが、「全くしない」も全国値を上回っている。

【読書・家庭学習習慣】

- 「昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にいきますか」は全国値を上回っている。
- 「新聞を読んでいますか」において「ほとんどまたは全く読まない」が全国値を大きく上回っている。

【地域とのつながり】

- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」は全国値を上回っている。

2. 今後の取り組み

ここ数年、本校に於いて調査結果が示す学力は向上をしています。「失敗を恐れず挑戦する」「学んだことを生かす」という質問に対して、肯定的な回答が全国値を上回っており、今以上に子どもたちの力を引き出せるような授業づくりに取り組み、課題改善に努めてまいります。「自分には良いところがあると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答が全国値を下回っています。自尊感情を高めること、達成感を持たせること、自分に自信が持てるような取り組みや声かけを学校でも家庭でも協力して行い、子どもたちに積極的な支援をしていきましょう。目まぐるしく変動していく社会の中で、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となっていけるように、家庭と学校と地域が一体となって連携することが必要です。今後とも、ご支援・ご協力・ご指導を何とぞよろしくお願いいたします。